

# 三月例会 御案内 (平成三十年)

(通算第六八三回)

## 公益財団法人 協和協会

### ○ 御案内

三月二十七日(火)十一時半より入館可、正午より午後二時半 参議院議員会館一階一〇二会議室  
講 題 これぞ、究極の長寿法!

講 師 帯津良一先生(医博・癌治療の権威、東大病院第三外科、都立駒込病院外科医長)

◎ 昨年から今年にかけて、世界は、北朝鮮の核実験・ICBM(大陸間弾道ミサイル)発射をはじめ挑発的言動に振り回されており、したがって、北朝鮮の分析、それに対するアメリカ、韓国、中国の出方、日本の対応について、御講話いただくことが多くなりましたが、今回は、視点を変えて、健康長寿問題を取り上げました。

医療福祉については、古くから当財団内部に「医療福祉部会」があり、多田宏元厚生省事務次官が当団体の部会長として、大きな成果を挙げておられます。近年、当財団内部で「医療福祉部会」の再開を求める声も高まっております。

日本も世界未曾有の高齢社会となり、高齢者がいつまでも健康で長生きし活動できることが、日本社会活性化のためにも必要です。そこで、今回は、いま、癌ばかりではなく、あらゆる角度から、「健康長寿のあり方」を説いておられる帯津良一先生に、その秘訣をうかがいます。

□ これは、個人にとっても日本社会にとって重要課題、奮っての御参加お待ち申し上げます。  
当日会費(昼食付き) 会員は四千円、非会員五千円。(清原記)

### 公益財団法人 協和協会

当日連絡先

080-8836-6203 重田  
080-9292-2620 高津

三月二十七日(火)の月例会

http://www.kyowakyokai.or.jp  
(通話のみ)

出席 欠席 (いずれかに○印を)

電話 03-3581-1192  
FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様の FAX  
メール

▽三月二十三日(金)までに出席の御連絡賜りたく。

### ◎ 御報告

当財団は、以前から朝鮮半島問題を取り上げてきましたが、それは、北朝鮮がしばしば核実験を行い、またミサイル発射を繰り返すので、とかく核やミサイルの技術専門家はじめ軍事専門家にお越しいただきました。しかし、昨年からは、米朝首脳間の駆け引き、それに対する左翼政権・文在寅韓国大統領のからみが浮上してきておりますので、特に韓国の国内情況を知りたい、それには、駐韓国日本大使を務められ、現在、外交・経済評論家として活動されている武藤正敏先生に御講話いただきたいと考え、去る二月二十六日、「韓国の北朝鮮への対応、対日・米・中国関係!」と題して、御講話いただきました。

その内容は、金正恩の「新年の辞」の内容紹介をはじめ、文在寅韓国大統領への訪朝招待など最近の融和攻勢を挙げ、これに対するアメリカのトランプ大統領とペンス副大統領の言動、北朝鮮への経済制裁強化、これに対する中国やロシアの対応状況を分析され、北朝鮮を変えることができるか、核問題解決への道筋を論じ、そして、日本はどう対応すべきかを挙げ、また最悪の場合、北朝鮮の崩壊に備える必要までを論じられました。武藤先生は、お若い時から朝鮮半島通で、駐韓公使、そして駐韓大使と長い御経験がおりますので、大層勉強になり、質疑応答も盛んで、感謝の拍手で閉会いたしました。(清原記)

### ▽ 当「公益財団法人 協和協会」とは

昭和四十九年、岸信介元総理によって創立された財団。活動趣旨は、「政党・派閥・利害・打算の次元を超えて、真に国家的課題を調査研究し、特に重要課題は、政府宛要請書を作って、時の政府へ提出する」ことにある、昭和五十四年から本格活動に入り、月例講話会のほかに、八つの部会と、五、六の委員会があり、これまでに百三十七本の要請書を時の政府へ提出している。第二代会長は福田越夫元総理、第三代会長は桜内義雄元衆議院議長、第四代会長は塩川正十郎元財務大臣、第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員、現在、第六代は代表理事兼会長代行として、岸信夫衆議院議員・前外務副大臣・現議院運営委員会理事が就任している。

▽事務局電話(03)3581-1192 代表理事兼専務理事・清原淳平、総務 重田、高津